

資 料

用語解説

ア行	
ICT	情報通信技術。情報技術の「IT(Information Technology)」に通信の「C(Communications)」を組み合わせた用語。
1型糖尿病	膵臓(すいぞう)のランゲルハンス島でインスリンを分泌しているβ細胞の破壊を原因とする糖尿病。その原因は主に自分の免疫細胞が自らの膵臓を攻撃するためと考えられているが(自己免疫性)、中には、原因不明の1型糖尿病もみられる(特発性)。
一般病床	病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床、結核病床及び療養病床以外のもの。
一般病棟入院基本料	診療報酬上の入院基本料の一つであり、病院の一般病棟に入院する患者に対して行われる基本的な医療サービスを評価するもの
医療保護入院	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で定められた入院形態の一つ。精神保健指定医の診察の結果、医療及び保護のために入院を必要とする精神障がい者で、精神障がいのために本人の同意に基づく入院が行われる状態にないと判断された場合、家族等の同意により入院させることができるもの。
インスリン治療	糖尿病の薬物療法の1つ。膵臓からの分泌が不足する分のインスリンを注射により体内へ取り入れ、血糖値を下げ、血糖コントロールを行う。インスリンを皮下から24時間持続的に注入するインスリンポンプ療法もある。
インフォームド・コンセント(IC)	医療行為を受ける前に、医師および看護師から医療行為について、わかりやすく十分な説明を受け、それに対して患者が内容について十分納得した上で、その医療行為に同意すること。すべての医療行為について必要な手続き。
院内助産	産科医師と助産師がそれぞれの専門性を発揮してより安全で快適なお産を目指す仕組み。正常な分娩に対する妊婦健診や分娩は主に助産師が対応し、急変時等には速やかに医師が対応する。
エイズ患者	診断時の検査によりHIV(ヒト免疫不全ウイルス)への感染が確認され、かつ、23あるエイズ指標疾患のうち一つ以上の臨床的特徴が認められると医師により診断された者。
衛生検査技師	国家資格のひとつ。血液や尿などの検体検査を行う医療専門職。
HIV感染者	診断時の検査によりHIV(ヒト免疫不全ウイルス)への感染が確認された者であって、23あるエイズ指標疾患の臨床的特徴を有しないと医師により診断された者。

H I V検査	H I V（ヒト免疫不全ウイルス）への感染の有無を調べる検査。「エイズ検査」と呼ぶ場合もある。ただし、H I Vに感染してから1～3ヶ月程度は「抗原」や「抗体」が検出されない期間（ウィンドウ期）があり、感染の可能性を明確に否定するためには、感染の機会から3ヶ月以上経ってから再検査をすることが望まれる。なお、エイズ発症の有無は検査でなく医師により診断される。
A E D（自動対外式除細動器）	「Automated External Defibrillator」の略。心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器。平成17年から一般人の使用も認められ、機械の音声指示に従って操作する。
A M R臨床リファレンスセンター	国立国際医療研究センター病院に設置された、薬剤耐性（AMR）に関する情報を集約し、医療従事者、福祉従事者、公衆衛生関連の職員等を対象とした教育啓発を実施する機関。
A D L（日常生活動作）	「activities of daily living」の略。日常生活動作と訳される。人間が毎日の生活を送るための基本的動作群のことであり、具体的には、①身の回り動作（食事、更衣、トイレ、入浴の動作等）、②移動動作、③その他（睡眠、コミュニケーション等）がある。
壊死	生体の一部の組織・細胞が死ぬこと。
S D G s	「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略。2015年9月に国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた17の目標。この中には「すべての人に健康と福祉を」といった健康福祉分野の目標についても盛り込まれている。また、政府が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」では地方自治体の各種計画においてもSDGsの要素を最大限反映されることが奨励されている。
エジンバラ産後うつ病質問票（E P D S）	産後うつ病のスクリーニング票で、母親の抑うつ感や不安の評価をする指標。母親の気分や赤ちゃんに対する気持ちなど母親が記入した項目について、支援者が母親から詳しく話を聴き、うつの傾向なのか不安を判断し、育児支援や早期支援など必要な支援につなげる。EPDSは「Edinburgh Postnatal Depression」の略。
N D B	「National Database」の略でレセプト情報・特定健診等情報データベースの呼称のこと。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、厚生労働大臣が医療保険者等より収集する診療報酬明細書及び調剤報酬明細書に関する情報並びに特定健康診査・特定保健指導に関する情報を格納し管理している。

N I C U	「Neonatal Intensive Care Unit」の略。新生児用の集中治療室のこと。産婦人科に併設され、新生児のうち極低出生体重児や仮死新生児などを対象とした施設。
M R I	「Magnetic Resonance Imaging」の略。体内にある細胞の磁気性を利用し、臓器の情報を画像化する検査機器又は検査方法。
MDMA	化学物質 「3,4-methylenedioxymethamphetamine」の略。3, 4-メチレンジオキシメタンフェタミンのこと。合成麻薬の一種で、カラフルな錠剤型をし、精神毒性があり、幻覚・幻聴や様々な障害を引き起こす薬物。
往診	患者や家族の求めに応じて（定期的・計画的でなく）緊急に患者宅等に赴き診療を行うこと。
お薬手帳	医療機関で処方された薬の名前、量、回数などや、過去の副作用、使用している健康食品の情報等を記録する手帳。
カ行	
介護医療院	介護保険施設で、要介護者に対し「長期療養のための医療」と「日常生活上の世話（介護）」を一体的に提供するもの。
介護福祉士	国家資格のひとつ。心身の障がいにより日常生活に支障がある者に介護を行うと共に、その者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う。
回復期リハビリテーション病棟	脳血管疾患、心大血管疾患、大腿（たい）骨頸（けい）部骨折等の患者を対象として、食事やトイレの使用など日常生活動作の改善による家庭復帰の支援を目的に集中的なリハビリテーションを行う病棟。
外来薬物療法	専用の治療室において、主に在宅で療養するがん患者を対象に、抗がん剤による治療などを医療機関が行う薬物療法。病床を有する専用の治療室の設置、専任の常勤看護師及び専任の常勤薬剤師の配置等が必要とされる。
外来緩和ケア	専用の治療室において、主に在宅で療養するがん患者を対象に、緩和ケアを医療機関が行う。病床を有する専用の治療室の設置、専任の常勤看護師及び専任の常勤薬剤師の配置等が必要とされる。
かかりつけ医	健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。
かかりつけ医機能	身近な地域における日常的な診療、疾病の予防のための措置その他の医療の提供を行う機能。

かかりつけ薬剤師	患者の服薬状況をまとめて管理するとともに、薬による治療のこと、健康や介護に関することなど、患者や住民のニーズに沿った相談に、いつでも応じることができる薬剤師。
感染症病床	病院の病床のうち、感染症法に規定する一類感染症（エボラ出血熱など）、二類感染症（急性灰白髄炎など。ただし、結核を除く。）、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症（未知の感染症で重大な影響を与えるおそれがあるもの）の患者・感染者を入院させるためのもの。
がん性疼痛（とうつう）	約 70%はがん自体が周囲の組織に広がって起こる痛みとされ、骨や内臓への転移による痛み、神経が圧迫されることによる痛みがある。そのほかに、がんに関連した痛み（寝たきりによる床ずれなど）、がん治療に関連した痛み（手術跡や薬物療法による口内炎）、がんに関係ない痛み（がんに併発して痛みが起こる）がある。
冠動脈	心臓の周囲を取り巻いている動脈。心臓の筋肉に酸素や栄養を運ぶ役割を果たしている。
心臓カテーテル	足の付け根等の動脈や静脈に細長い管（カテーテル）を入れて、心臓までカテーテルの先端を動かし、先端から造影剤を流すことで、心臓の状態を見る検査。カテーテルは検査だけでなく、治療として使うこともあり、狭いところを広げる治療（バルーン治療、ステント治療）、不要な血管を詰めたり穴をふさぐ治療等がある。
冠動脈インターベンション（PCI）	体外から血管内に細い管（カテーテル）を入れて、冠動脈を造影しながら、狭くなっている部位を風船（バルーン）を使って広げる治療法。
緩和ケア病棟	がんの進行などに伴う体や精神的な症状があり、がんを治すことを目標にした治療（抗がん剤治療やホルモン療法、放射線治療や手術など）が困難となったり、あるいはこれらの治療を希望しない者を主な対象とする病棟。
義肢装具士	国家資格のひとつ。医師の処方に基づき、装着部位の採寸、義手等の義肢装具の製作、適合・調整などを行う医療専門職。
キャンサーボード	がん患者の治療方針を多角的に検討したうえで決定することを目的に、がん治療（手術、抗がん剤治療、放射線治療）の専門家を中心に、専門医や、看護師、薬剤師などの職種も加わり、患者にとって最善の治療を話し合う検討会議のこと。
QOL	「Quality Of Life」の略。患者の生活の質を向上させることを尺度として捉える概念。

救急救命士	国家資格のひとつ。傷病者に対して救急車で病院に到着するまでの間、医師の具体的、包括的指示のもとで救急救命処置を行うことができる資格者のこと。
休日夜間急患センター	休日及び夜間に初期救急医療を行うことを目的として開設された医療機関。
救命救急センター	重篤救急患者の救命医療を行うことを目的に設置された施設で、高度な救急医療を24時間体制で提供できる機能を有するもの。
教育入院	主に糖尿病患者を対象とする治療目的ではなく、自己管理能力向上のための入院。患者・家族が糖尿病について正しく理解し、自己管理するために2週間程度入院し、糖尿病療育指導士を中心とした医療チームの指導を受ける。
共生社会の実現を推進するための認知症基本法	令和6年1月1日施行。認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、もって認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会の実現を推進することを目的とする。
クリティカルパス	診療計画のこと。医療が標準化されることにより、医療の質の向上、効率化、医療安全対策、インフォームド・コンセント等に寄与することが期待される。(地域連携クリティカルパス：地域内で各医療機関が共有する、患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画)
血液生化学検査	血液を遠心分離機にかけて、有形成分(赤血球、白血球、血小板など)と無形成分(血清)とに分離し、血清中の物質を化学的に分析する検査。病気の診断や治療の判定、病状の経過観察に必要。
結核病床	病院の病床のうち、感染症法に規定する結核の患者を入院させるためのもの。
結核罹患(りかん)率	1年間に新たに登録された結核患者数をその区域(国又は県)の人口で除し、人口10万人当たりで算出した率。この率が、100以上であれば、高まん延、10~100であれば、中まん延、10を下回れば低まん延、と言われる。
血清クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。筋肉量が多いほどその量も多くなるため、基準値には男女差がある。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。数値が高いと、腎臓の機能が低下していることを意味し、尿タンパクとともに慢性腎臓病(CKD)の指標となる。
血栓溶解療法(t-PA療法)	薬を使って脳梗塞の血栓を溶かす治療。t-PAという薬剤が使用される。

健康サポート薬局	かかりつけ薬局の機能に加えて、健康維持・増進に関する相談の受付や医療機関への適切な受診勧奨、健康食品、衛生材料などを利用者が自ら適切に選択できる供給機能、助言体制を有するなど、厚生労働大臣の定める基準に適合する薬局。
健康日本 21	厚生労働省が健康増進法に基づいて展開する「21世紀における国民健康づくり運動」のこと。
言語聴覚士	国家資格のひとつ。音声機能、言語機能または聴覚に障がいのある者に対し、検査や機能向上のための訓練等を行う。S T (Speech-Language-Hearing Therapist) と略すこともある。
抗菌薬	細菌の増殖を抑えたり、殺菌する薬。
公認心理師	平成 29 年 (2017 年) の公認心理師法施行により制度が発足した国家資格のひとつ。保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理に関する相談及び助言、指導その他の援助等を行う専門職。
後発医薬品	最初に開発した薬 (先発医薬品) の特許期限が過ぎた後に、同じ成分、同じ含量で作られ、先発医薬品より価格が安い薬。ジェネリック医薬品とも言う。
誤嚥 (ごえん) 性肺炎	食事中における食物や唾液、嘔吐による胃の内容物、または義歯などの異物など、本来気道に入るべきでないものを、吸引 (誤嚥) することにより引き起こされる肺炎。
サ行	
サーベイランスシステム	感染症法に基づく感染症発生動向調査を円滑かつ確実に実施するために、発生届等の情報を医療機関や保健所等の関係者間で共有するシステム。
災害時小児周産期リエゾン	災害時に、被災地の保健医療ニーズの把握、保健医療活動チームの派遣調整等に係る助言及び支援を行う都道府県災害医療コーディネーターをサポートすることを目的として、都道府県により任命された者
在宅当番医制	市町村及び一部事務組合の委託により、郡市医師会の医師が自院において当番制で夜間休日診療を実施する体制のこと。初期救急医療を行うとともに、入院治療が必要な患者を判別し、二次救急医療機関等へ搬送する機能を果たしている。
作業療法士	国家資格のひとつ。心身に障がいのある人、またはそれが予測される人に対して、作業活動を用いて、機能の回復や維持、または開発を支援する医療専門職。O T (Occupational Therapist) と略すこともある。

産後うつ	出産後1～2週間、あるいは数か月以内に、気分が沈み、日常生活の中で興味や喜びがなくなる、不眠、必要以上に罪悪感を抱いて自分を責めるなどの状態が2週間以上続き、育児や家事に支障をきたすような場合をいう。
CT	「Computed Tomography」の略。エックス線による画像をコンピュータで解析し、胸部、腹部等を断層（輪切り）画像として調べる検査機器又は検査方法。
GA検査	過去2週から1か月間の平均血糖値を推測することができ、HbA1c検査よりも直近の血糖値が反映されます。
GFR	「Glomerular Filtration Rate」糸球体濾過（ろか）量：尿は通常、腎臓の糸球体というところで血液を濾過し作られる。腎臓のこの「老廃物を尿へ排泄する能力」がどのくらいあるかを示した数値。この値が低いと腎臓の働きが悪いということになる。
死産	妊娠22週0日以降に、赤ちゃんが亡くなった状態で出産になること。
脂質代謝異常	血液中にふくまれるコレステロールや中性脂肪（トリグリセライド）などの脂質が、一定の基準よりも多い状態。
事前指示書	人生の最終段階において、病気が可能な限りの治療によっても回復の見込みがなく、近い将来の死が避けられない場合に受たい医療や受たくない医療等について自分の意思を記載した書面。
視能訓練士	国家資格のひとつ。医師の指示のもとに視機能検査や、斜視や弱視等の訓練治療に従事する。
死亡率	ある集団に属する人のうち、一定期間中に死亡した人の割合。
社会福祉士	国家資格のひとつ。心身の障がいまたは環境上の理由により、日常生活に支障がある人の相談に応じ、助言・指導を行うと共に、関係者との連絡・調整や援助を行う。
柔道整復師	国家資格のひとつ。一般的に、ほねつぎ、整骨師、接骨師として知られ、骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷（筋・腱の損傷）などの治療を行う。
周産期	妊娠後期（妊娠満22週以降）から新生児早期（生後1週未満）までの出産前後の時期。
周産期死亡	妊娠後期（妊娠満22週以降）の死産及び新生児早期（生後1週未満）の死亡。
受療率	ある特定の日にすべての医療機関に入院あるいは通院、又は往診を受けた人口10万人当たりの患者数。厚生労働省が行う「患者調査」により全国推計患者数を把握し算出する。

巡回診療	一定地点に医師・看護師等が出向いて公衆又は特定多数人に対して診療が行われる形態あり、医療法上は診療所の開設に該当する診療形態。
準無医地区・準無歯科医地区	無医地区、無歯科医地区には該当しないが、同地区に準じた医療の確保が必要な地区と知事が判断し、厚生労働大臣が認めた地区。
小児	0歳から14歳までの子ども。
小児慢性特定疾病	子どもの慢性疾患のうち、小児がんや慢性腎炎など、治療期間が長く、医療費負担が高額となることから、児童の健全育成、患者家庭の医療費の負担軽減につながるよう、医療費への自己負担分が補助される特定の疾病のこと。14疾患群722疾病が対象。
助産師外来	助産師が産科医師と役割分担し、妊産褥婦とその家族の意向を尊重しながら、健康診査や保健指導を行う仕組み。
自立支援医療（精神通院医療）	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する統合失調症等の精神疾患（てんかんを含む。）を有する者で、通院による精神医療を継続的に要する病状の者に対し、その通院医療に係る医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度。
心エコー（心臓超音波）検査	超音波を体表から入れて心臓の壁から反射させることで、心臓の様子を画像に表示する検査。
新興感染症	感染症法に規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症（かかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、全国的かつ急速なまん延のおそれがあるものに限る。）及び新感染症。
人工透析	腎不全が進行し、腎臓が機能しなくなった場合に、血液を浄化する治療。血液透析と腹膜透析の2種類がある。
診診連携	診療所と診療所との相互の医療連携。
新生児	出生後4週間（28日）未満の子ども。
心肺蘇生法	呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して心肺機能を補助するために行う救急救命処置。状態を確認しながら、意識の確認・気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ・AED（自動対外式除細動器）による除細動などを行う。
診療所	医師又は歯科医師が、公衆又は特定多数人のために医業又は歯科医業を行う場所であって、患者を入院させるための施設を有しない医療機関又は19人以下の患者を入院させるための施設を有する医療機関。
診療放射線技師	国家資格のひとつ。医師・歯科医師の指示のもとに、X線撮影装置・超音波装置・CT・MRIなどの機器により検査等を行う。
水平感染	垂直感染（母子感染）以外の感染経路であり、感染源である人や物との接触や、空気・飛沫等を介して広がるもの。

ストレスチェック制度	労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）や、検査結果に基づく医師による面接指導の実施などを事業者に義務付ける制度（従業員数50人未満の事業場は当分の間努力義務）。
健やか親子 21	平成13年（2001年）から開始した、母子の健康水準を向上させるための様々な取組をみんなで推進する国民健康運動。平成27年度（2014年度）から2024年度までが「健やか親子21（第2次）」の10年計画となっている。
精神病床	病院の病床のうち、精神疾患を有する者を入院させるためのもの。
精神科救急情報センター	精神科救急医療体制における、精神障がい者及びその家族等からの緊急的な精神医療相談窓口。精神障がい者の症状緩和を図るための適切な助言と、必要に応じて医療機関の紹介や受診勧奨を行う。
精神保健指定医	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定に基づき、患者本人の意思によらない入院や行動制限の判定を行う、厚生労働大臣が指定する精神科医師。
精神保健福祉士	国家資格のひとつ。精神科病院や福祉施設等で、精神に障がいを持つ人などの社会復帰を支援するために、助言・指導や訓練を行う。
生存率	ある一定の期間経過した集団について、その時点で生存している患者の割合のことで、通常は百分比（%）で示される。生存率は、治療の効果を判定する最も重要かつ客観的な指標。がんの種類や比較などの目的に応じて、1年、2年、3年、5年、10年生存率が用いられる。
精度管理 （病原体検査）	検査値が正しい結果になるように、検体採取時から検体の取扱いに様々な管理条件を設定するとともに、検査機器のメンテナンスや検査技術の向上を図るなどの管理をすること。
セカンドオピニオン	診断や治療方法について主治医以外の医師の意見を聞くこと。
セルフメディケーション	自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること（WHOの定義）。
潜在性結核感染症	明らかな臨床的症状を有さず、細菌学的検査や胸部画像検査（胸部X線・CT等）でも結核を示唆する所見はないが、リンパ球の菌特異蛋白刺激によるインターフェロンγ試験やツベルクリン反応検査により結核菌に感染していること確認され、治療を必要とする者。
先天性代謝異常等	心身の発達に必要なある種の酵素が生まれつき欠けていたり、ホルモン合成の異常等が原因で起こり、放置すると心身の発達等に異常を起こす。現在、治療法が確立している25疾患について、新生児期に検査を実施。

専門看護師	日本看護協会による民間資格。より困難で複雑な健康問題を抱えた人、家族、地域等に対してより質の高い看護を提供するための知識や技術を備えた特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有する看護師。
総合診療医	総合的な診療能力を有する医師の名称。なお、一般社団法人 日本専門医機構では「日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する使命を担う医師」と定義。
相互乗り入れ（予防接種）	かかりつけ医がお住まいの市町村以外にいる場合や、里帰り出産等やむを得ない事情によりお住まいの市町村で予防接種を受けることができない場合に、お住まいの市町村以外でも定期予防接種を受けることができること。
造血細胞移植	血液疾患（主に血液がん）に対して、完治を目指して行われる治療法のひとつ。患者本人またはドナーから事前に採取した造血幹細胞を輸注（静脈から点滴のように投与）すること。
咀嚼（そしゃく）	摂取した食物を、切断し噛み砕いて、飲み込みやすい形にする一連の過程。食物を飲み込める程度にまでかむこと。
措置入院	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で定められた入院形態の一つ。「精神障害のために自身を傷つけ、または他人に害を及ぼすおそれがある」者に対して、2名の精神保健指定医による診察の結果、いずれも、精神がい者であり、かつ、医療及び保護のために入院させる必要があると判定された場合、都道府県知事の命令により、入院措置を行うもの。
タ行	
退院支援職員	入院患者が早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるよう、病棟に配置され退院支援業務等に専従する職員。
第三者行為求償	交通事故等の第三者による不法行為によって生じた保険給付について、保険者が立て替えた医療費等を加害者等に対して損害賠償請求すること。
大動脈解離	大動脈は、外膜、中膜、内膜の3層構造となっている。なんらかの原因で内側にある内膜に裂け目ができ、その外側の中膜の中に血液が入り込んで長軸方向に大動脈が裂けること。

多剤耐性結核	抗結核薬のうち、イソニアジド (INH) 及びリファンピシン (RFP)に耐性をもつ結核菌による結核。
地域連携クリティカルパス	クリティカルパスの欄を参照。
地域包括ケア体制	可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域において、医療・介護・生活支援等の各サービスが相互に連携し、地域住民が互いに支え合い、自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。
重複受診	同じ病気で複数の医療機関を受診すること。
重複投薬	複数の医療機関にかかっている場合に、同じ効能の薬が重複して処方され、それを服用すること。
治療失敗・脱落率	治療開始後5か月日以降に培養検査陽性となった者(＝治療失敗)及び医師が治療完遂を認める前に2か月以上治療を中断した者(＝治療脱落)の合計数を結核治療患者数で除した割合。
低出生体重児／極低出生体重児	低出生体重児：2,500g未満で出生した児 極低出生体重児：1,500g未満で出生した児
DOTS	「Directly Observed Treatment, Short-course」の略。患者が医師から処方された薬を服用するところを医療従事者が目の前で確認し、治療するまで患者が確実に服薬することを支援する方法。
電子カルテ	診療の際に作成された記録を管理・保存するため、電子媒体に記憶させたカルテ。
電子処方箋	オンラインにより電子的に運用される処方箋。
糖尿病性神経障害	高血糖が持続することによる末梢神経障害や自律神経障害。手足のしびれや痛み、感覚が鈍くなる、下痢や便秘などの症状がでる。
糖尿病性腎症	高血糖が持続することにより、腎臓の濾過(ろか)機能を担う糸球体が損なわれる疾患。進行すると浮腫や血圧上昇を招き、腎不全や尿毒症に移行する。
糖尿病性昏睡(こんすい)	インスリン分泌量の不足などのため高血糖状態が続くことにより、のどの渇き、吐き気、頭痛、腹痛、昏睡(こんすい)などの症状を起こす糖尿病の急性合併症。
糖尿病足病変	糖尿病に罹患(りかん)している者が、足にできた傷(切り傷、水虫、火傷など)が元になって感染、膿瘍、壊死となる状態。進行すると、足の切断が必要となる場合もある。
糖尿病網膜症	高血糖が持続することにより、網膜の毛細血管が障害を受け、破れたり詰まったりする疾患。初期には自覚症状がほとんどなく、進行すると失明に至る場合もある。

登録販売者	都道府県の実施する試験により、一般用医薬品の販売等に必要な資質を有することが確認された医薬品の専門家。一般用医薬品のうち第2類医薬品と第3類医薬品の販売等が可能。
特定健康診査	高齢者の医療の確保に関する法律に定められた、生活習慣病予防のため医療保険者により40歳以上75歳未満を対象に実施されるメタボリックシンドロームに着目した健康診査。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による効果が期待できると判定された人に対して行われる生活習慣を見直すための支援。
ドラッグエルディングステント（薬剤溶出性ステント）	血管の再狭窄を予防する薬剤がコーティングされたステント（バルーンカテーテルで拡張された血管が再び狭くならないよう、血管内に留置する医療機器）。その薬剤が徐々に解けていくことにより、血管の開存を維持する効果がより長く持続する。
ナ行	
2型糖尿病	インスリン分泌低下と感受性低下の二つを原因とする糖尿病。
乳児	生後1年未満の子ども。
尿中アルブミン	初期の病変(早期腎症)を診断する指標の一つ。糖尿病性腎症の早期発見マーカーとして用いられる。
認知症疾患医療センター	都道府県知事の指定により、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する専門医療相談、鑑別診断、入院治療、診断後支援等を実施し、地域の中核的な役割を担う専門医療機関。
認定看護師	日本看護協会による民間資格。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師。
年齢調整死亡率	年齢構成の異なる集団について死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率。例えば、都道府県別に死亡者数を人口で除した通常の死亡率を比較すると、各都道府県の年齢構成に差があるため、死亡率は高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があるが、この年齢調整死亡率を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく地域比較や年次比較をすることができる。
ハ行	
バイオ後続品	バイオ医薬品（バイオテクノロジー応用医薬品）の特許期限が過ぎた後に、品質・有効性等が同等／同質であることを検証し製造され、バイオ医薬品より価格が安い薬。バイオシミラーとも言う。







廃用性症候群	長期に渡る過剰な安静により引き起こされる筋力低下、筋萎縮、拘縮、骨粗しょう症、起立性低血圧、上気道感染症、褥瘡(床ずれ)、尿路感染症、便秘、食欲不振、体重減少、不安、うつなど、身体のあらゆる機能が低下する状態。生活不活発病とも言う。
発達障がい者（発達障がい児）	発達障害者支援法では、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものを「発達障害」と定義し、発達障がいを有するために日常生活又は社会生活に制限を受ける者を「発達障害者」、発達障がいのうち18歳未満の者を「発達障害児」としている。
ハンセン病	らい菌による慢性炎症性の感染症。しかし、らい菌の病原性は弱く、たとえ感染しても発病することはまれである。
ピア・サポート	同じ疾病の体験者や当事者が患者やその家族に寄り添い、自らの体験を通して相談者の抱えている不安や悩みを軽減、解消するための活動。
病院	医師又は歯科医師が、公衆又は特定多数人のために医業又は歯科医業を行う場所であって、20人以上の患者を入院させるための施設を有するもの。
病院群輪番制	地域の病院が順番に担当する輪番制方式により休日夜間の入院治療を必要とする患者を受け入れる診療体制。
病診連携	病院とかかりつけ医等の診療所との医療連携。
病病連携	病院と病院との医療連携。
頻回受診	同じ病気で同じ医療機関を受診する回数が過度に多いこと。
複産	双子、三つ子等の多胎で生まれた出生であり、死産は含まない。
フットケア	足の健康や足病変の予防および悪化防止のために看護師が行うケアの総称。糖尿病による知覚障害がある場合には、靴ずれや傷・低温火傷に気付きにくいことなどから足病変の危険性が高く、末梢血管障害や高血糖による身体防御機能の低下により傷の悪化・回復の遅延が起こりやすいことから、足腫瘍や足壊疽(えそ)を来す危険性が高い。
不妊	妊娠を望む健康な男女が避妊をしないで性交しているにもかかわらず、一定期間妊娠しない状態をいう。日本産科婦人科学会では、この「この一定期間」について「1年というのが一般的である」と定義。
訪問診療	居宅で療養を行っている患者で、通院による診療が困難な場合に、計画的な医学管理の下に患者宅等に定期的な訪問をして診療を行うこと。

訪問薬剤管理指導	薬剤師が、通院の困難な在宅で療養している患者に対して、処方医の指示により、作成した薬学的な管理計画に基づき患者宅を訪問し、薬歴管理、服薬指導、服薬支援、服薬や保管状況の確認などを行い、訪問結果を処方医に報告すること。
ポリファーマシー	単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加や薬の飲み間違い、積極的に治療へ参加する意欲の低下等の問題につながる状態。
マ行	
マンモグラフィ	乳房のエックス線撮影。乳房は柔らかい組織でできているため、専用のエックス線装置を使って撮影する。
無医地区、無歯科医地区	以下の①～③を満たす地区。 ①医療機関（歯科医療機関）がない地域。 ②当該地区の中心的な場所を起点として、概ね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地域。 ③容易に医療機関を利用できない地区（交通機関が1日3往復以下等）
メディカルコントロール	病院に搬送される前の救護の質を保証するため、救急搬送における救急救命士等の医療行為を医師が指示又は指導及び検証する体制。
ヤ行	
薬局	薬剤師が処方せんにより、調剤の業務や医薬品等の適正な使用に必要な情報の提供、薬学的な指導等の業務を行う場所。医療提供施設として位置づけられている。
有床診療所	19人以下の患者を入院させるための施設を有する医療機関
ラ行	
理学療法士	国家資格のひとつ。身体に障がいのある人や障がいが予測される人に対して、運動療法や物理療法などを用いて、基本動作能力の向上や維持を支援する医療専門職。PT（Physical Therapist）と略することもある。
罹患率（りかんりつ）	ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。通常1年単位で算出され、「人口10万人のうち何例罹患したか」で表現される。
リフィル処方箋	症状が安定している患者に対して、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に繰り返し利用（3回までに限る。）できる処方箋。
療育	障がいをもつ子どもが社会的に自立することを目的として行われる医療と保育。
療養病床	病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床及び結核病床以外の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるためのもの。

療養病棟入院基本料	診療報酬上の入院基本料の一つであり、病院の療養病棟に入院する患者に対して行われる基本的な医療サービスを評価するもの。
臨床検査技師	国家資格のひとつ。血液や尿などの検体検査や、心電図、エコーなどの生理学的検査などを行う医療専門職。
臨床研修指定病院	医師法により、診療に従事しようとする医師は、2年以上、医学部を置く大学に附属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならないとされている。この研修を行う病院として、厚生労働省の審査を受け指定を受けた病院のこと。
臨床工学技士	国家資格のひとつ。人工呼吸器や人工心肺装置などの、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う医療専門職。
臨床心理士	日本臨床心理士資格認定協会による民間資格。種々の心理テストや心理カウンセリングなどを通じ、心の問題点を明らかにして、助言や指導、支援などを行う。
レセプト	患者が受けた診療について、医療機関が公的医療保険の運営者に請求する医療費の明細書。

リボン運動について

リボン運動とは、リボンの色を決め、ある運動の象徴とし、リボンを身につけるなどして意思表示をする活動です。

リボン		趣 旨	実施団体
レッドリボン		エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないことをアピール	公益財団法人エイズ予防財団
オレンジリボン		子どもの虐待防止を普及啓発	認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク
ゴールドリボン		小児がんに関する啓発活動や治療研究への支援および小児がん経験者のQOL向上のための活動を展開	NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク、公益財団法人がんの子どもを守る会
ティール&ホワイトリボン		子宮頸がんに関する情報の普及・啓発、子宮頸がんワクチンの平等な接種機会の確保、子宮頸がん検診の受診率の向上、適切な治療情報の普及・啓発等を目標に活動を展開	NPO法人キャンサーネットジャパン「ティール&ホワイトリボンプロジェクト」
グリーンリボン		“Gift of life”(いのちの贈りもの)によって結ばれた臓器提供者(ドナー)と移植が必要な患者さんのいのちのつながりを表現 (詳細●ページ参照)	公益社団法人日本臓器移植ネットワーク、一般社団法人全国腎臓病協議会、NPO法人日本移植者協議会、NPO法人日本移植者スポーツ協会など
イエローリボン		国連で採択された障害者権利条約を日本国内に広く普及し、障害のある人びとの社会参加を推進	日本障害フォーラム

【その他のリボン運動】

ピンクリボン運動：乳がんに対する理解と支援のシンボル（認定NPO法人乳房健康研究会、日本乳がんリボン運動等）

シルバーリボン運動：脳に障害のある者への偏見の払拭（NPO法人シルバーリボンジャパン）

パープルリボン運動：国際的な女性に対する暴力根絶運動等

*掲載したリボン運動以外にも様々なリボン運動があります。また、定めた団体により同じ色でも趣旨が異なるリボンもあります。

コラム一覧

番号	コラム名	区 分	ページ
1	人口構造の考え方(20~74歳を生産年齢人口とした場合の人口推計)	人口構造	15
2	年齢調整死亡率とは？	人口動態と平均寿命	17
3	地域医療連携推進法人制度	保健医療施設の状況	37
4	ヘルスプロモーション	目指すべき姿	60
5	長野県の健康長寿の要因と次世代への継承		61
6	健康寿命		63
7	信州 ACE プロジェクトの取組 ~ICT を活用した実践例~	県民参加の健康づくり	70
8	健康経営		72
9	専門職による「健康づくりの支援・相談」の取組		72
10	座位行動	身体活動・運動、休養	87
11	睡眠と健康		88
12	加熱式たばこと電子たばこ	たばこ	94
13	「お口の健康推進員」の養成	歯科口腔保健	102
14	長野県歯科口腔保健推進センター		106
15	血圧の話①	生活習慣病予防	117
16	血圧の話② ~高血圧予防は若い世代から~		118
17	若い世代に対する健康づくりへの取組		121
18	市町村・産婦人科・助産院など「サポーター」による妊産婦の産前産後メンタルヘルス支援	母子保健 (長野県母子保健計画)	148
19	プレコンセプションケア支援 ~情報サイト「妊活ながの」を活用した情報発信・相談支援~		152
20	医療需要の推移の見込み	地域医療構想	184
21	病床機能報告と病床数の必要量推計値との比較について		189
22	療養病床を有する医療機関の介護保険施設等への転換意向調査結果の概要		192
23	医療 DX	機能分化と連携 (病診連携等の推進)	213
24	患者のための薬局ビジョン	医薬分業・医薬品等の適正使用	220
25	スポーツチームサポーターへの献血啓発活動		220
26	電子お薬手帳		221
27	人生 100 年時代、これからの歯科医師の役割	歯科医師	250
28	感染管理認定看護師の養成について	看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）	266
29	長野県看護協会による訪問看護総合支援センターの取組		267
30	ナースセンター事業		267
31	生活の質を支援する歯科衛生士	歯科衛生士・歯科技工士	269
32	デジタル化がもたらす歯科技工士の可能性		270
33	栄養ケア・ステーション	管理栄養士・栄養士	273
34	タスク・シフト/シェア	その他の医療従事者	276

番号	コラム名	区 分	ページ
35	医療機関で活躍する専門職種と多職種連携	その他の医療従事者	277
36	上手な医療のかかり方	医療従事者の勤務環境改善	280
37	救命講習	救急医療	284
38	ドクターヘリ・ドクターカーの活用		286
39	救急医療と“人生の最終段階における心肺蘇生等”		286
40	東日本台風災害における保健医療福祉活動チーム等の活動	災害時における医療	300
41	出生前診断	周産期医療	323
42	オプション新生児スクリーニング検査		323
43	チャイルドデスレビュー（Child Death Review）	小児医療	329
44	移行期医療支援コーディネーターについて		333
45	家族等の付き添い者への支援		334
46	へき地におけるオンライン診療の取組	へき地医療	352
47	ACP：アドバンス・ケア・プランニング（「人生会議」）とリビングウィル	在宅医療	363
48	在宅医療におけるICTの活用		364
49	地域包括ケア体制		366
50	在宅医療における薬局・薬剤師の役割		368
51	かかりつけ医について	外来医療 （外来医療計画）	381
52	かかりつけ医機能について		382
53	かかりつけ医機能が発揮される制度整備について		382
54	プライマリ・ケアについて		383
55	紹介受診重点医療機関について		385
56	かかりつけ歯科医について	歯科口腔医療	389
57	大麻について	薬物乱用対策	394
58	グリーンリボン	その他の医療施策	398
59	バイオ医薬品とバイオ後続品（バイオシミラー）	医療の効率的な提供の推進	412
60	がん診療連携拠点病院	がん対策（長野県がん対策推進計画）	439
61	高額療養費制度と先進医療利子補給事業について		442
62	緩和ケア		448
63	脳卒中の前触れ、一過性脳虚血発作とは	脳卒中对策（循環器病対策推進計画）	472
64	救急搬送時の遠隔作業支援、病院同士の画像伝送の必要性		476
65	地域医療・多職種連携の必要性 ～飯田下伊那診療情報連携システム～		489
66	急性大動脈解離とその治療		515
67	循環器病の緩和ケアと人生の最終段階における医療・ケアの決定	心筋梗塞等の心血管疾患対策（循環器病対策推進計画）	519
68	心臓リハビリテーションとフィットネスの連携 ～佐久地域の取組～		525

番号	コラム名	区 分	ページ
69	心不全パンデミック	心筋梗塞等の心血管疾患 対策（循環器病対策推進 計画）	533
70	「Raise to 80 Project」～胎児心臓病スクリーニング向上の ための長野県立こども病院の取組～		535
71	増加する成人先天性心疾患患者数、循環器内科管理の重要性		538
72	薬局における糖尿病の重症化予防の取組	糖尿病対策	544
73	糖尿病連携手帳について		545
74	スティグマとアドボカシー		548
75	医療で取り組む自殺対策について	精神疾患対策	564
76	精神科と身体科の医療連携について		568
77	「にも」包括について		572
78	大麻は安全？	依存症対策（長野県依存 症対策推進計画）	585
79	SBIRTS を広めよう		589
80	薬剤耐性（AMR）対策	感染症対策（長野県感染 症予防計画）	619
81	分子疫学的手法（VNTR 解析）		624
82	ヒトスジシマカについて		628
83	近年の梅毒の増加		635
84	季節性インフルエンザと新型インフルエンザ		638
85	任意予防接種の定期接種化に向けた動き		646
86	明治期に作成されたハンセン病に関する患者台帳の流出		648
87	奈良宣言 2023	肝疾患対策（長野県肝炎 対策推進計画）	655
88	腎代替療法の現状と慢性腎臓病対策としての腎移植の推進	CKD（慢性腎臓病）対策	672
89	腎機能に影響を与える医薬品について（注意が必要な CKD の 薬物治療）		675

医療情報ネット

このシステムでは、医療機能情報提供制度により医療機関（病院、診療所、歯科診療所、助産所、薬局）から報告を受けた情報をパソコンやスマートフォンからインターネット上で検索することができます。かかりたい診療科目や診察内容、自宅からの距離などの条件に応じて医療機関を探すことも可能です。

また、休日や夜間における緊急時には、その時間に診察を行っている医療機関を検索することもできます。

アドレス <https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/>

保健医療に関する相談窓口一覧

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
健康づくりに関する相談	健康づくりに関する相談	佐久保健福祉事務所 上田保健福祉事務所 諏訪保健福祉事務所 伊那保健福祉事務所 飯田保健福祉事務所 〃 阿南支所 木曾保健福祉事務所 松本保健福祉事務所 大町保健福祉事務所 長野保健福祉事務所 北信保健福祉事務所 長野市保健所 松本市保健所	0267-63-3164 0268-25-7149 0266-57-2927 0265-76-6837 0265-53-0444 0260-22-2206 0264-25-2233 0263-40-1938 0261-23-6529 026-225-9045 0269-62-6104 026-226-9961 0263-40-0701	月～金 8:30～17:15
休日・夜間の緊急医案内	休日・夜間の緊急医の案内 *特に症状が重い場合は消防署に救急車を要請してください。	休日・夜間緊急医案内サービス	050-3033-0665 (電話・FAX)	24時間(ただし、昼間は「通常の診療体制」である旨の案内のみ)
救急電話相談	大人（おおむね15歳以上）の病気やけがなどの救急医療に関する相談 *特に症状が重い場合は消防署に救急車を要請してください。	長野県救急安心センター (#(シャープ)7119)	プッシュ回線 携帯電話 #7119 アナログ回線 IP電話 026-231-3021	平日 19:00～翌8:00 平日以外 8:00～翌8:00
小児救急電話相談	小児（おおむね15歳未満）の病気やけがなどの救急医療に関する相談 *特に症状が重い場合は消防署に救急車を要請してください。	小児救急電話相談 (#(シャープ)8000)	プッシュ回線 携帯電話 #8000 アナログ回線 IP電話 026-235-1818	毎日 19:00～翌8:00

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
がんに関する 相談	がんに関する悩み や心配ごとを始め、医療情報、地 域の医療機関の紹 介、セカンドオピ ニオンなどに関す る様々な相談	佐久総合病院佐久医療センター がん相談支援センター	0267-88-7184	月～金 9:00～16:00 第2・4土 9:00～11:30
		信州上田医療センター がん相談支援センター	0268-22-1895	月～金 9:00～16:00
		諏訪赤十字病院 がん相談支援センター	0266-57-7502	月～金 8:30～17:00
		伊那中央病院 がん相談支援センター	0265-96-0562	月～金 8:30～17:15
		飯田市立病院 がん相談支援センター	0265-21-2010	月～金 8:30～17:15
		県立木曽病院 がん相談支援センター	0264-22-2703 (内)2191	月～金 9:00～16:30
		信州大学医学部附属病院 がん相談支援センター	0263-37-3045	月～金 9:00～16:00
		相澤病院 がん相談支援センター	0263-33-1251	月～金 9:00～16:30
		北アルプス医療センターあづみ病院 がん相談支援センター	0261-62-3166	月～金 9:00～16:00
		長野赤十字病院 がん相談支援センター	026-217-0558	月～金 9:00～17:00
		長野市民病院 がん相談支援センター	026-295-1292	月～金 8:30～17:15
		北信総合病院 がん相談支援センター	0269-23-2005	月～金 8:30～17:00

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
医療に関する相談	医療に関する心配ごと、悩みごとに関する相談	長野県医療安全支援センター 【健康福祉部医療政策課内】	TEL 026-235-7276 FAX 026-223-7106	月～金 9:00～16:30 (12:00～13:00を除く)
		佐久保健福祉事務所 医療安全支援センター	0267-63-3162	
		上田保健福祉事務所 医療安全支援センター	0268-25-7147	
		諏訪保健福祉事務所 医療安全支援センター	0266-57-2925	
		伊那保健福祉事務所 医療安全支援センター	0265-76-6835	
		飯田保健福祉事務所 医療安全支援センター	0265-53-0442	
		木曾保健福祉事務所 医療安全支援センター	0264-25-2231	
		松本保健福祉事務所 医療安全支援センター	0263-40-1937	
		大町保健福祉事務所 医療安全支援センター	0261-23-6525	
		長野保健福祉事務所 医療安全支援センター	026-223-2131	
		北信保健福祉事務所 医療安全支援センター	0269-62-3105	
		長野市医療安全支援センター (長野市民の方) 【長野市保健所内】	026-226-6000 (医療相談専用電話)	
		松本市医療安全支援センター (松本市民の方) 【松本市保健所内】	0263-40-0800 (医療相談専用電話)	月～金 8:30～17:15
医師の就職に関する相談	医師の就業先(勤務内容、待遇、住まい等含む)に関する相談	長野県ドクターバンク【健康福祉部医師・看護人材確保対策課医師係内】	026-235-7144	月～金 8:30～17:15
女性医師の就労等に関する相談	女性医師等のライフステージに応じた就労やキャリア形成をはじめ、様々な悩みや不安に関する相談	健康福祉部医師・看護人材確保対策課医師係	026-235-7144	月～金 8:30～17:15
国民健康保険に関する相談	国民健康保険に関する疑問や相談	健康福祉部健康増進課 国民健康保険室	026-235-7096	月～金 8:30～17:15
不妊・不育症に関する相談	不妊治療等に関する情報提供、不妊・不育症に関する悩みの相談	不妊・不育専門相談センター 【長野県看護協会会館内】	0263-35-1012	
		・不妊・不育専門相談員による相談		火・木 10:00～16:00 土 13:00～16:00 (面接は要予約)
		・産婦人科医師による相談		毎月第4木曜日 (要予約 予約受付時間は上記のとおり)
プレコンセプションケアに関する相談	男女問わず性や生殖に関する相談	性と健康の助産師相談 ・助産師による相談 【長野県助産師会】	0263-31-0015	木 10:00～14:00 19:00～21:00
難聴(児)に関する相談	子どもの難聴に関する相談	長野県難聴児支援センター	TEL 0263-34-6588 FAX 0263-34-6589	月～金 8:30～17:15

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
エイズ・性感染症の相談	エイズ、その他の性感染症の相談・検査予約	エイズ・性感染症の相談・検査予約専用電話		月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-5656	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-9977	
		飯田保健福祉事務所	0265-52-0812	
		〃 阿南支所（相談のみ）	0260-22-2206	
		木曾保健福祉事務所	0264-24-2220	
		松本保健福祉事務所	0263-47-7831	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6527	
		長野保健福祉事務所	026-225-0812	
		北信保健福祉事務所	0269-62-3107	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9966	
		松本市保健所（松本市民の方）	0263-40-0703	
栄養相談	専門的な栄養相談	佐久保健福祉事務所	0267-63-3163	月～金 8:30～17:15
		上田保健福祉事務所	0268-25-7148	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2926	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6836	
		飯田保健福祉事務所	0265-52-0443	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2232	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1938	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6526	
		長野保健福祉事務所	026-225-9045	
		北信保健福祉事務所	0269-62-6311	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9966	
		松本市保健所（松本市民の方）	0263-40-0701	

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
難病相談	難病に関する相談	長野県難病相談支援センター	TEL 0263-34-6587 FAX 0263-34-6589	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2927	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6837	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0444	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2233	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1938	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6529	
		長野保健福祉事務所	026-225-9039	
		北信保健福祉事務所	0269-62-6104	
		健康福祉部保健・疾病対策課	026-235-7150	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9965	
		松本市保健所（松本市民の方）	0263-40-0701	
精神保健福祉に関する相談	精神障がい者の社会参加、思春期の心の問題、依存症、ひきこもり、心の健康づくり等の相談	精神保健福祉センター （長野県依存症相談拠点機関） （自殺対策推進センター） （ひきこもり支援センター）	026-266-0280	月～金 8:30～17:15
		佐久保健福祉事務所	0267-63-3164	
		上田保健福祉事務所	0268-25-7149	
		諏訪保健福祉事務所	0266-57-2927	
		伊那保健福祉事務所	0265-76-6837	
		飯田保健福祉事務所	0265-53-0444	
		木曾保健福祉事務所	0264-25-2233	
		松本保健福祉事務所	0263-40-1938	
		大町保健福祉事務所	0261-23-6529	
		長野保健福祉事務所	026-225-9039	
		北信保健福祉事務所	0269-62-6104	
		長野市保健所（長野市民の方）	026-226-9965	
		松本市保健所（松本市民の方）	0263-40-0701	
		こころの健康相談統一ダイヤル	“消えてしまいたい”“家族や知人に死にたいと訴える人がある”“身内が自死してつらくてどうしようもない”などの自殺に関する相談	
精神科医療相談	緊急に精神科医療を必要とする方の相談	精神障がい者在宅アセスメントセンター 「りんどう」	0265-81-9900	毎日 17:30～8:30
発達障がいに関する相談	発達障がいに関する情報提供、紹介	長野県発達障がい情報・支援センター	0263-37-2725	月～金 9:00～16:00

相談項目	相談内容	相談先	電話番号等	時間等
心の電話相談	心の健康に関する相談 ※相談員の傾聴により、話を聞いてもらいたい人に対応します。	心の電話相談員による相談	026-217-1680	月～金 9:30～16:00
脳卒中・心臓病等相談窓口	循環器病（脳卒中・心臓病）で悩みや不安を抱えている方の相談	信州大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター	0263-37-2891	月～金（祝日を除く） 10:00～16:00

策 定 経 過

○ 第3期信州保健医療総合計画策定合同会議

開催日	主な会議内容
2023年11月8日（書面）	計画の基本的事項、目指すべき姿
2023年12月22日	第3期信州保健医療総合計画の素案の全体像

○ 長野県医療審議会

開催日	主な会議内容
2022年9月16日	第8次長野県保健医療計画の策定について（策定委員会の設置等）
2022年12月20日	保健医療計画策定委員の指名
2023年2月3日	第8次長野県保健医療計画の策定について（諮問）
2023年5月26日	保健医療計画策定委員の指名
2023年9月22日	保健医療計画策定委員の指名
2024年2月9日	第8次長野県保健医療計画の策定について（答申）

○ 長野県医療審議会保健医療計画策定委員会

開催日	主な会議内容
2022年12月20日	ワーキンググループ等の設置、国の検討状況、県民医療意識調査等
2023年2月3日	保健医療の現状、第7次計画進捗評価、ロジックモデル等
2023年5月26日	計画作成指針等の概要、計画の枠組み、二次医療圏の設定等
2023年9月22日	第8次保健医療計画の骨子案、グランドデザインの検討等
2023年11月28日	基準病床数、第8次長野県保健医療計画素案の検討
2024年2月9日	計画案の決定

○ 長野県保健医療計画策定ワーキンググループ

ワーキンググループ	開催日	主な会議内容
救急・災害医療	① 2023年3月27日	（各ワーキンググループ共通）
	② 2023年6月12日	
	③ 2023年9月5日	
	④ 2023年10月16日	
小児・周産期医療	① 2023年3月9日	① 座長選任、国の検討状況の説明、疾病・事業ごとの現状と課題の検討、ロジックモデルの説明
	② 2023年6月6日	
	③ 2023年8月24日	
	④ 2023年10月24日	
生活習慣病等対策・歯科・医薬	① 2023年3月17日	② 国の医療計画作成指針の説明、ロジックモデル案の検討
	② 2023年6月12日	
	③ 2023年8月28日	
	④ 2023年10月16日	
外来・へき地・在宅医療	① 2023年3月30日	③ 分野ごとの検討（ロジックモデル案、計画本文案、疾病・事業ごとの圏域設定及び二次医療圏相互の連携体制、機能別医療機関一覧）
	② 2023年6月5日	
	③ 2023年8月24日	
	④ 2023年10月31日	
新興感染症等の感染拡大時における医療（※）	① 2023年3月29日	④ グランドデザイン、分野別計画素案の検討

※2023年度から長野県感染症対策連携協議会に移行

○ 地域医療構想調整会議（保健医療計画圏域連携会議を兼ねる）

医療圏	開催日（1回目）	開催日（2回目）	計画に関する主な会議内容
佐久	2023年9月1日	2023年12月15日（書面）	（各調整会議共通） 【1回目】 第8次保健医療計画の検討状況 【2回目】 第8次保健医療計画素案に対する意見
上小	2023年9月11日	2023年12月21日	
諏訪	2023年9月1日	2023年12月15日（書面）	
上伊那	2023年9月5日	2023年12月15日（書面）	
飯伊	2023年9月4日	2023年12月18日	
木曽	2023年9月7日	2023年12月15日（書面）	
松本	2023年9月12日	2023年12月19日	
大北	2023年9月13日	2023年12月15日（書面）	
長野	2023年9月19日	2023年12月13日	
北信	2023年8月29日	2023年12月15日（書面）	

○ 長野県地域医療対策協議会

開催日	主な会議内容
2023年3月28日	第8次長野県保健医療計画の策定について
2023年5月30日	保健医療従事者の養成・確保に関する現状と課題、施策の検討等
2023年9月7日	保健医療従事者の養成・確保に関する計画骨子案の検討
2023年10月30日	グランドデザイン、保健医療従事者の養成・確保に関する計画素案の検討

○ 長野県生活習慣病懇談会

開催日	主な会議内容
2023年6月7日 （長野県栄養・運動懇談会と合同開催）	第4次長野県健康増進計画の策定について、第3次計画の進捗評価等
2023年8月23日	第4次長野県健康増進計画の骨子案の検討等
2023年10月19日	第4次長野県健康増進計画の素案の検討等

○ 長野県栄養・運動懇談会

開催日	主な会議内容
2023年6月7日 （長野県生活習慣病懇談会と合同開催）	第4次長野県健康増進計画の策定について、第3次計画の進捗評価等
2023年8月25日	第4次長野県健康増進計画の骨子案の検討等
2023年10月26日	第4次長野県健康増進計画の素案の検討等

○ 長野県歯科口腔保健推進計画策定懇談会

開催日	主な会議内容
2023年5月29日	次期長野県歯科口腔保健推進計画の策定について、現計画の進捗評価
2023年8月17日	次期長野県歯科口腔保健推進計画等の骨子案の検討
2023年10月20日（書面）	次期長野県歯科口腔保健推進計画等の素案の検討

○ 長野県母子保健推進連絡会

開催日	主な会議内容
2023年9月6日	次期長野県母子保健計画の策定について等
2023年11月14日	次期長野県母子保健計画の素案の検討

○ 長野県医療費適正化計画策定懇談会

開催日	主な会議内容
2023年9月20日	医療費等の現状、第4期長野県医療費適正化計画の骨子案の検討等
2023年11月20日	第4期長野県医療費適正化計画の素案の検討

○ 長野県がん対策推進協議会

開催日	主な会議内容
2023年3月16日	長野県がん対策推進計画の進捗状況、次期計画の策定について
2023年10月26日	ランドデザイン、次期長野県がん対策推進計画の素案の検討

○ 長野県がん対策推進協議会作業部会

開催日	主な会議内容
2023年7月18日	次期長野県がん対策推進計画の骨子案、ロジックモデルの検討
2023年9月12日	次期長野県がん対策推進計画の素案、二次医療圏相互の連携体制の検討等

○ 長野県感染症対策連携協議会

開催日	主な会議内容
2023年8月3日	感染症法の改正概要、予防計画の改定の方向性（案）等
2023年9月14日	長野県感染症予防計画及び第8次長野県保健医療計画の検討
2023年10月30日	長野県感染症予防計画及び第8次長野県保健医療計画の検討等

○ 長野県ウイルス肝炎診療懇談会

開催日	主な会議内容
2023年8月20日	次期長野県肝炎対策推進計画の素案の検討

○ 長野県地方精神保健福祉審議会保健医療計画策定作業部会

開催日	主な会議内容
2023年3月17日	第8次長野県保健医療計画の策定について、現状と課題について等
2023年6月5日	国の医療計画策定指針について、ロジックモデルの検討
2023年9月15日	ロジックモデル・計画本文案の検討、連携体制、機能別医療機関一覧、基準病床数についての検討等
2023年11月6日	保健医療計画（精神）素案について （長野県地方精神保健福祉審議会と兼ねて開催）

○ 長野県アルコール健康障害対策推進会議

開催日	主な会議内容
2023年3月3日	長野県依存症対策推進計画策定の方向性について、現状と課題について
2024年1月30日	長野県依存症対策推進計画素案について、各構成機関・団体の取組について

○ 長野県ギャンブル等依存症対策関係者連絡会議

開催日	主な会議内容
2023年1月24日	長野県依存症対策推進計画策定の方向性について、現状と課題について
2024年1月30日	長野県依存症対策推進計画素案について、各構成機関・団体の取組について

○ 長野県循環器病対策推進協議会

開催日	主な会議内容
2023年2月8日	次期長野県循環器病対策推進計画の策定について等
2023年11月1日	ランドデザイン、次期長野県循環器病対策推進計画の素案の検討

○ 長野県循環器病対策推進協議会作業部会

開催日	主な会議内容
2023年7月13日	次期長野県循環器病対策推進計画の骨子案、ロジックモデルの検討
2023年9月21日	次期長野県循環器病対策推進計画の素案、二次医療圏相互の連携体制の検討 等

○ 長野県難病対策連絡会議

開催日	主な会議内容
2023年2月7日	第8次長野県保健医療計画の策定について 等
2023年10月10日	難病対策に関する計画素案の検討 等

○ 長野県アレルギー疾患医療連絡会議

開催日	主な会議内容
2023年1月19日	第8次長野県保健医療計画の策定について 等
2023年10月10日	アレルギー疾患対策に関する計画素案の検討 等

○ 県民等からの意見募集

区 分	期 間
パブリックコメント	2023年12月25日 ～ 2024年1月23日
医療法に基づく市町村・関係団体からの意見聴取	
高齢者の医療の確保に関する法律に基づく市町村への協議	

○ 調 査

調査名	調査時期	調査内容
県民医療意識調査	2023年1月	県民の保健医療に対する意識の把握

委員等名簿

○ 第3期信州保健医療総合計画策定合同会議（11名） （50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
犬塚 伸	長野県立こころの医療センター駒ヶ根副院長兼診療部長	
梅村 武司	信州大学医学部教授	
金子 源吾	飯田市立病院名誉院長	
草間 かおる	長野県立大学健康発達学部教授	
齋藤 彦次郎	長野県歯科医師会常務理事	
塚田 昌大	松本市保健所長	
花岡 正幸	信州大学医学部附属病院長	
本郷 一博	伊那中央病院長	
本田 孝行	長野県立病院機構理事長	
丸山 和敏	長野県病院協議会長	
若林 透	長野県医師会長	

（2023年12月現在）

○ 長野県医療審議会保健医療計画策定委員会（26名） （50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
飯塚 康彦	長野県医師会副会長	
池上 道子	心ある母さんの会相談役	任期：2023年7月まで
伊藤 正明	長野県歯科医師会長	
宇田川 信之	松本歯科大学歯学部長	
奥野 ひろみ	前信州大学医学部教授	任期：2023年3月まで
亀井 智泉	長野こども療育サークルMテラス理事	任期：2023年7月まで
川真田 樹人	前信州大学医学部附属病院長	任期：2023年3月まで
小林 恵子	佐久大学看護学部教授	
斉藤 雅恵	ほっとくらぶ代表	任期：2023年7月から
酒井 茂	長野県議会議員	任期：2023年4月まで
清水 昭	長野県保険者協議会副会長	
下平 喜隆	長野県町村会社会環境部会長（豊丘村長）	
白鳥 孝	長野県市長会社会環境部会長（伊那市長）	任期：2023年4月から
杉山 敦	医療法人杉山外科医院理事長	
鈴木 章彦	医療法人すずきレディスクリニック理事長	
関 健	社会医療法人城西医療財団理事長・総長	
竹内 正美	長野県議会議員	任期：2023年4月から
竹重 王仁	前長野県医師会長	任期：2023年7月まで
中込 さと子	信州大学医学部教授	任期：2023年4月から
萩元 聡子	かごこし子どもの森公園ファミリーサークルどんぐりの会相談役	任期：2023年7月から
花岡 利夫	前長野県市長会社会環境部会長（東御市長）	任期：2023年4月まで
花岡 正幸	信州大学医学部附属病院長	任期：2023年4月から
日野 寛明	前長野県薬剤師会長	任期：2023年7月まで
藤森 和良	長野県薬剤師会長	任期：2023年7月から
本郷 一博	伊那中央病院長	任期：2023年7月まで
本田 孝行	長野県立病院機構理事長	委員長
馬島 園子	長野県栄養士会長	
町田 貴	前長野県腎臓病患者連絡協議会長	任期：2023年7月まで
松木 良介	長野県腎臓病患者連絡協議会長	
松本 あつ子	前長野県看護協会会長	任期：2023年7月まで
松本 清美	長野県看護協会会長	任期：2023年7月から

丸山 和敏	長野県病院協議会長	
森 浩二	長野県医師会総務理事	任期：2023年8月から
吉澤 徹	諏訪中央病院長	任期：2023年7月から
若林 透	長野県医師会長	任期：2023年7月から
和田 秀一	長野赤十字病院長	
渡辺 仁	厚生連佐久総合病院統括院長	

任期：令和4年9月16日から令和6年3月31日まで

(2024年2月現在)

(長野県医療審議会保健医療計画策定委員会)



○ 長野県保健医療計画策定ワーキンググループ

・救急・災害医療（8名）

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
石井 絹子	長野県看護協会専務理事	
今村 浩	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター長	
岩下 具美	長野赤十字病院救命救急センター長兼第一救急部長	
佐伯 英則	前長野県消防長会長	任期：2023年3月まで
高山 浩史	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター助教	
田中 昌彦	長野県医師会常務理事	
藤澤 裕子	前長野県薬剤師会副会長	任期：2023年7月まで
藤牧 泉	長野県消防長会長	任期：2023年4月から
山本 明広	長野県薬剤師会副会長	任期：2023年7月から
和田 秀一	長野赤十字病院長	座長

(2023年10月現在)

・小児・周産期医療（11名）

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
稲葉 雄二	県立こども病院副院長	
菊地 範彦	長野県周産期医療連絡会（周産期）	
黒澤 和子	伊那中央病院産婦人科部長	
小林 法元	長野赤十字病院小児科部長	
塩沢 丹里	信州大学医学部産科婦人科教授	
鹿野 恵美	長野県助産師会長	
鈴木 章彦	医療法人すずきレディスクリニック理事長	座長
中沢 洋三	信州大学医学部小児医学教室教授	
廣間 武彦	長野県周産期医療連絡会（小児）	
松岡 高史	長野県小児科医会長	
松本 あつ子	前長野県看護協会会長	任期：2023年7月まで
松本 清美	長野県看護協会会長	任期：2023年7月から

(2023年10月現在)

・生活習慣病等対策・歯科・医薬（9名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
井口 光世	長野県歯科医師会専務理事	
加賀美 秀樹	長野県薬剤師会専務理事	
上條 祐司	信州大学医学部附属病院腎臓内科診療教授	
小林 秀行	東御市健康福祉部長	任期：2023年4月まで
駒津 光久	信州大学医学部糖尿病・内分泌代謝内科教授	
清水 昭	長野県保険者協議会	
内藤 隆文	信州大学医学部附属病院薬剤部長	
野邑 敏夫	長野県医師会副会長	
林 みどり	飯田市健康福祉部長	任期：2023年4月から
丸山 和敏	長野県病院協議会長	座長

（2023年10月現在）

・外来・へき地・在宅医療（11名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
石塚 豊	長野県薬剤師会副会長	任期：2023年7月から
伊藤 みほ子	長野県看護協会専務理事	
小林 広美	長野県介護支援専門員協会会長	
杉山 敦	長野県医師会在宅医療推進委員会委員長	
関口 健二	信州大学医学部附属病院総合診療科	
塚田 修	長野県有床診療所協議会長	
中澤 勇一	信州大学医学部地域医療推進学講座准教授	
新津 恒太	長野県歯科医師会常務理事	
長谷部 優	前長野県薬剤師会副会長	任期：2023年7月まで
濱野 英明	長野県立木曽病院長	
平栗 富士男	泰阜村住民福祉課長	
渡辺 仁	厚生連佐久総合病院統括院長	座長

（2023年10月現在）

・新興感染症等の感染拡大時における医療（10名）（※）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
飯塚 康彦	長野県医師会副会長	
石井 絹子	長野県看護協会専務理事	
石塚 豊	長野県薬剤師会専務理事	
岡田 邦彦	厚生連佐久総合病院佐久医療センター副院長	
帯川 豊博	岡谷市健康福祉部長	
川真田 樹人	信州大学医学部附属病院長	座長
長瀬 有紀	長野保健福祉事務所長兼北信保健福祉事務所長	
花岡 正幸	信州大学医学部内科学第一教室教授	
宮島 しずか	豊丘村健康福祉課長	
山崎 善隆	長野県立信州医療センター副院長兼感染症センター長	

※2023年度から長野県感染症対策連携協議会に移行

（2023年3月現在）

○ 長野県地方精神保健福祉審議会保健医療計画策定作業部会（8名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
遠藤 謙二	長野県精神科病院協会会長	
佐藤 みずき	長野県精神保健福祉士協会	
関 健	社会医療法人城西医療財団理事長・総長	部会長
轟 純一	長野県精神科病院協会副会長	

埴原 秋児	県立こころの医療センター駒ヶ根院長	
南方 英夫	日本精神科看護協会長野支部顧問	
鷲塚 伸介	信州大学医学部精神医学教室教授	
鷲塚 輝久	長野県精神神経科診療所協会会長	

(2023年12月現在)

○ 長野県地域医療対策協議会 (19名)

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
會田 信子	信州大学医学部保健学科教授	
阿部 岳史	長野県立病院機構労働組合書記長	任期：2023年8月から
伊藤 正明	長野県歯科医師会長	
奥山 隆平	信州大学医学部長	任期：2023年4月から
梶川 昌二	諏訪赤十字病院院長	
片井 みゆき	政策研究大学院大学教授	任期：2023年7月まで
川真田 樹人	前信州大学医学部附属病院院長	任期：2023年3月まで
鹿野 恵美	長野県助産師会長	
下平 喜隆	長野県町村会社会環境部会長(豊丘村長)	
白旗 久美子	飯田市立病院臨床研修センター長	任期：2023年8月から
白鳥 孝	長野県市長会社会環境部会長(伊那市長)	任期：2023年8月から
田内 克典	相澤病院院長	
竹重 王仁	前長野県医師会長	任期：2023年7月まで
塚田 修	長野県有床診療所協議会長	
中山 淳	前信州大学医学部長	任期：2023年3月まで
花岡 利夫	前長野県市長会社会環境部会長(東御市長)	任期：2023年7月まで
花岡 正幸	信州大学医学部附属病院院長	任期：2023年4月から
比田井 修	長野県立病院機構労働組合特別中央執行委員	任期：2023年7月まで
日野 寛明	前長野県薬剤師会長	任期：2023年7月まで
藤森 和良	長野県薬剤師会長	任期：2023年8月から
本田 孝行	長野県立病院機構理事長	会長
松本 あつ子	前長野県看護協会会長	任期：2023年7月まで
松本 清美	長野県看護協会会長	任期：2023年8月から
丸山 和敏	長野県病院協議会長	
若林 透	長野県医師会長	任期：2023年8月から
和田 秀一	長野県臨床研修指定病院等連絡協議会長	
渡辺 仁	佐久総合病院統括院長	

(2023年12月現在)

○ 長野県生活習慣病懇談会 (8名)

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
伊澤 淳	信州大学医学部教授	
碓 映雄	長野県事業場健康診断機関協議会会長	
勝山 真由美	長野県学校保健会養護教諭部会会員	
北島 麻子	須坂市健康づくり課管理栄養士	
田中 ゆう子	長野県保険者協議会 長野県国民健康保険団体連合会保健事業主任専門員	
長瀬 有紀	松本保健福祉事務所長	
錦織 直子	長野県産業看護研究会会長	
湯本 佐知子	飯山市保健福祉課総括保健師	

(2023年10月現在)

○ 長野県栄養・運動懇談会（10名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
有賀 恵子	中野市健康づくり課主査（管理栄養士）	
五十嵐 宏美	日本健康運動指導士会長野県支部健康運動指導士	
市ノ羽 富美枝	伊那市健康推進課保健師	
鬼頭 宏明	長野労働局労働基準監督官	
草間 かおる	長野県立大学健康発達学部教授	
河野 裕紀子	全国健康保険協会長野支部保健師	
小林 晴江	長野県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会長	
鈴木 三千穂	上田保健福祉事務所長	
根本 賢一	松本大学教授	
花岡 佐喜子	長野県栄養士会副会長	

（2023年10月現在）

○ 長野県歯科口腔保健推進計画策定懇談会（11名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
石田 結菜	中野市健康づくり課歯科衛生士	
小田切 優美	長野県教育委員会保健厚生課主任指導主事	
栗田 浩	信州大学医学部歯科口腔外科学教室教授	
五島 秀樹	長野赤十字病院歯科口腔外科部長	
齋藤 彦次郎	長野県歯科医師会常務理事（医療管理部担当）	
新津 恒太	長野県歯科医師会常務理事（地域保健部担当）	
降旗 郁	辰野町保健福祉課課長補佐兼保健指導係長	
宮嶋 典子	長野県歯科衛生士会会長	
宮島 平一	飯田下伊那歯科医師会会長	
芳澤 享子	松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授	
吉田 みか	長野県公衆衛生専門学校准教授	

（2023年10月現在）

○ 長野県母子保健推進連絡会（11名）

（50音順、敬称略）

氏名	所属	備考
内山 明子	白馬村教育委員会子育て支援課課長	
北村 文明	長野県産婦人科医会長	
鹿野 恵美	長野県助産師会長	
塚田 昌大	松本市保健所長	
中込 さと子	信州大学医学部教授	
中村 勇一	長野県歯科医師会理事	
松岡 高史	長野県小児科医会長	
松本 清美	長野県看護協会会長	
村上 寛	信州大学医学部周産期のこころの医学講座講師	
柳澤 亜紀	東御市健康福祉部健康保健課保健係長	
吉川 さなえ	長野県栄養士会常任理事	

（2023年11月現在）

○ 長野県医療費適正化計画策定懇談会（11名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
石塚 豊	長野県薬剤師会副会長	
大滝 祐吉	長野県歯科医師会副会長	
荻原 幹夫	佐久市国保医療課長	
奥村 誠二	健康保険組合連合会長野連合会事務局長	
轟 幾代	長野県国民健康保険団体連合会保健事業課課長補佐	

平出 邦夫	長野県後期高齢者医療広域連合保健事業室長	
古田 博信	全国健康保険協会長野支部企画総務部長	
松本 清美	長野県看護協会会長	
丸山 和敏	長野県病院協議会長	座長
溝口 圭一	長野県医師会常務理事	
宮崎 紀枝	長野県立大学グローバルマネジメント学部教授	

(2023年11月現在)

○ 長野県がん対策推進協議会（19名）

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
伊藤 祐三	前長野県市長会（駒ヶ根市長）	任期：2023年3月まで
岩本 靖彦	伊那保健福祉事務所長	
上野 賢治	篠ノ井総合病院がんサロンあい	
大滝 祐吉	長野県歯科医師会副会長	任期：2023年7月から
小田切 優美	長野県学校保健会事務局	
金子 源吾	飯田市立病院名誉院長	座長
川真田 樹人	前長野県がん診療連携拠点病院長	任期：2023年3月まで
小泉 知展	長野県がん診療連携協議会がん登録部会長	
小林 弦太	前長野労働局健康安全課長	任期：2023年3月まで
五味 夏恵	がん患者家族	
小山 えり奈	長野県経営者協会	任期：2023年10月から
佐藤 健	長野県市長会（飯田市長）	任期：2023年5月から
下平 喜隆	長野県町村会（豊丘村長）	
田中 昌彦	長野県医師会常務理事	
徳永 和成	長野労働局健康安全課長	任期：2023年5月から
花岡 正幸	長野県がん診療連携拠点病院長	任期：2023年5月から
馬島 園子	長野県栄養士会会長	
増田 裕行	長野県医師会乳がん検診小委員会委員長	
松本 あつ子	前長野県看護協会会長	任期：2023年7月まで
松本 清美	長野県看護協会会長	任期：2023年7月から
萬谷 摩美子	長野県薬剤師会理事	
宮澤 健治	長野県健康づくり事業団放射線業務課長	
持田 明美	前長野県経営者協会	任期：2023年3月まで
山岸 光男	前長野県歯科医師会副会長	任期：2023年7月まで
和田 満紀	日本労働組合総連合会長野県連合会執行委員	

(2023年10月現在)

○ 長野県がん対策推進協議会作業部会（9名）

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
岩本 靖彦	伊那保健福祉事務所長	
大滝 祐吉	長野県歯科医師会副会長	
金子 源吾	飯田市立病院名誉院長	座長
小泉 知展	長野県がん診療連携協議会がん登録部会長	
田中 昌彦	長野県医師会常務理事	
花岡 正幸	長野県がん診療連携拠点病院長	
増田 裕行	長野県医師会乳がん検診小委員会委員長	
松本 清美	長野県看護協会会長	
萬谷 摩美子	長野県薬剤師会理事	

(2023年9月現在)

○ 長野県感染症対策連携協議会（12名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
飯塚 康彦	長野県医師会副会長	
石井 絹子	長野県看護協会専務理事	
石塚 豊	長野県薬剤師会専務理事	
岡田 邦彦	厚生連佐久総合病院佐久医療センター副院長	
帯川 豊博	岡谷市健康福祉部長	
小林 良清	長野市保健所長	
塚田 昌大	松本市保健所長	
長瀬 有紀	松本保健福祉事務所長	
花岡 正幸	信州大学医学部附属病院長	座長
藤牧 泉	長野県消防長会長	
宮島 しずか	豊丘村健康福祉課長	
山崎 善隆	長野県立信州医療センター副院長兼感染症センター長	

（2023年10月現在）

○ 長野県ウイルス肝炎診療懇談会（8名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
市川 斎	こまくさ会会長	
内山 光代	松本市保健所健康づくり課係長	
梅村 武司	信州大学医学部教授	座長
宜保 行雄	宜保内科 消化器・肝臓内科クリニック院長	
清澤 研道	相澤病院消化器病センター名誉センター長	
小池 ゆり子	川中島クリニック副院長	
田中 榮司	信州大学医学部特任教授	
田淵 すみ子	ながの肝臓友の会会長	

（2023年8月現在）

○ 長野県アルコール健康障害対策推進会議（12名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
浅沼 桂二	長野県飲食業生活衛生同業組合理事長	任期：2023年4月から
石坂 晋子	長野県学校保健会養護教諭部会高校代表	任期：2023年4月から
伊藤 篤志	長野県民生委員児童委員協議会連合会会長	
犬塚 伸	長野県立こころの医療センター駒ヶ根副院長兼診療部長	座長
落合 美保	前全国保健師長会長長野県支部副支部長	任期：2023年3月まで
大日方 良光	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会専務理事	
小泉 典章	長野県精神科病院協会会員	
土屋 毅	長野県断酒連合会理事長	
高野 俊英	長野県小売酒販組合連合会会長	
竹村 絵梨	前長野県学校保健会養護教諭部会高校代表	任期：2023年3月まで
中村 敏範	信州大学医学部助教	
藤井 國廣	前長野県飲食業生活衛生同業組合理事長	任期：2023年3月まで
宮坂 直孝	長野県酒造組合会長	
望月 正子	全国保健師長会長長野県支部役員	任期：2023年4月から
森 浩二	長野県医師会総務理事	任期：2023年4月から
若林 透	前長野県医師会総務理事	任期：2023年3月まで

（2024年1月現在）

○ 長野県ギャンブル等依存症対策関係者連絡会議（13名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
新井 清美	信州大学学術研究院保健学系教授	
飯塚 康彦	長野県医師会副会長	
犬塚 伸	長野県立こころの医療センター駒ヶ根 副院長兼診療部長	
井出 孝男	長野県遊技業協同組合専務理事	
川俣 正美	信州ちくま株式会社代表取締役	
久保田 妙子	全国ギャンブル依存症家族の会長野代表	
佐藤 由美	前日本司法支援センター（法テラス）長野地方事務所 事務局長	任期：2023年3月まで
瀬戸 佑一	長野保護観察所統括保護観察官	任期：2023年4月から
高山 典和	長野県司法書士会社会問題対策委員長	任期：2023年4月から
中村 敏範	信州大学医学部助教	
ま つ	ギャマノン	
松本 陽	前長野県司法書士会社会問題対策委員長	任期：2023年3月まで
柳澤 薫	日本司法支援センター（法テラス）長野地方事務所 事務局長	任期：2023年4月から
ユ ウ	ギャンブル等依存症経験者	
六川 祐介	長野県弁護士会弁護士	

（2024年1月現在）

○ 長野県循環器病対策推進協議会（21名）

（50音順、敬称略）

氏名	役職等	備考
石塚 豊	長野県薬剤師会副会長	
碓 暎雄	長野産業保健総合支援センター所長	
今村 浩	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター センター長	
大澤 麻美	全国心臓病の子どもを守る会長野県支部副支部長	
大見 朋哲	長野県理学療法士会副会長	任期：2023年10月から
笠井 千奈	千曲市健康福祉部健康推進課課長	任期：2023年10月まで
金井 春子	前長野県食生活改善推進協議会会長	任期：2023年10月まで
桑原 宏一郎	信州大学医学部教授	
小岩井 順子	全国心臓病の子どもを守る会心臓病者友の会 長野県支部代表	
小林 広美	長野県介護支援専門員協会会長	
齋藤 彦次郎	長野県歯科医師会常務理事	
佐伯 英則	前長野県消防長会会長	任期：2023年10月まで
笹沼 幸子	前長野県保健補導員会等連絡協議会会長	任期：2023年10月まで
佐藤 博之	前長野県理学療法士会会長	任期：2023年10月まで
須藤 恭弘	長野県健康福祉部感染症対策課感染症医療対策監	
中村 美千子	長野県保健補導員会等連絡協議会会長	任期：2023年10月から
濱村 圭一	長野県保険者協議会副会長	
樋口 靖志	長野リハビリ友の会副理事長	
藤牧 泉	長野県消防長会会長	任期：2023年10月から
堀内 哲吉	信州大学医学部教授	
本郷 一博	伊那中央病院院長	座長
馬島 園子	長野県栄養士会会長	
松本 清美	長野県看護協会会長	任期：2023年10月から
山本 かづ子	前長野県看護協会副会長	任期：2023年10月まで
山崎 昭子	長野県食生活改善推進協議会会長	任期：2023年10月から
山崎 真澄	木島平村民生課課長	任期：2023年10月から

山本 昌江	阿智村民生課課長	任期：2023年10月まで
渡邊 恵	安曇野市健康推進課課長	任期：2023年10月から

(2023年11月現在)

○ 長野県循環器病対策推進協議会作業部会 (16名)

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
青木 俊樹	市立大町総合病院副院長兼脳神経外科部長	
今村 浩	信州大学医学部附属病院高度救命救急センターセンター長	
草野 義和	長野市民病院副院長兼地域医療連携室長	
桑原 宏一郎	信州大学医学部教授	座長
須藤 恭弘	長野県健康福祉部感染症対策課感染症医療対策監	
関島 良樹	信州大学医学部教授	
瀬戸 達一郎	信州大学医学部教授	
瀧間 浄宏	長野県立こども病院循環器小児科部長	
露崎 淳	浅間南麓こもろ医療センター脳神経内科部長	
花岡 吉亀	信州大学医学部准教授	
堀内 哲吉	信州大学医学部教授	
元木 博彦	信州大学医学部准教授	
矢崎 善一	佐久医療センター副院長兼内科統括部長	
山本 一也	飯田市立病院副院長兼心臓血管センター長	
吉岡 二郎	長野県医師会理事(長野赤十字病院名誉院長)	
渡辺 徳	丸の内病院副院長兼心不全ケアセンター長	

(2023年9月現在)

○ 長野県難病対策連絡会議 (47名)

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
荒井 貴徳	伊那中央病院医療福祉係長	任期：2023年4月から
伊藤 正子	信州上田医療センター医療SW※	任期：2023年4月から
今井 慎二	下諏訪町保健福祉課課長補佐兼福祉係長	
大塚 康平	北アルプス医療センターあづみ病院医療SW※	
小田切 頼子	長野県医療ソーシャルワーカー協会SW※	任期：2023年3月まで
北原 理恵	長野県移行期医療支援センター 移行期医療支援コーディネーター	
久保 愛菜	中野市福祉課主査	任期：2023年3月まで
小林 和代	まつもと医療センター主任医療社会事業専門職	任期：2023年4月から
小林 弦太	前長野労働局健康安全課長	任期：2023年3月まで
齋藤 裕幸	北信総合病院MSW	
齋藤 泰弘	信州上田医療センター地域医療連携室看護師長	任期：2023年4月から
佐々木 俊介	佐久医療センター佐久総合病院医療SW※	任期：2023年3月まで
塩原 さとみ	長野県医療ソーシャルワーカー協会副会長	任期：2023年4月から
清水 雄策	伊那中央病院脳神経内科部長	
関島 良樹	信州大学医学部脳神経内科教授	座長
瀬里 明子	長野労働局松本公共職業安定所 難病患者就職サポーター	
高橋 光子	長野県訪問看護ステーション連絡協議会長	
滝澤 聖美	佐久医療センター佐久総合病院SW※	任期：2023年4月から
瀧間 浄宏	長野県立こども病院 移行期医療支援センター長兼循環器小児科部長	
高野 千恵	北信総合病院地域医療連携課看護師長	任期：2023年3月まで
武川 建二	諏訪赤十字病院副院長	
田 幸康宏	長野県難病患者連絡協議会長	

田澤 浩一	長野赤十字病院部長	
棚田 麻衣	飯田市立病院医療福祉係長	任期：2023年3月まで
寺島 理紗	まつもと医療センターSW※	任期：2023年3月まで
傳田 拓男	長野県作業療法士会長	
遠山 千絵美	信州上田医療センター医療 SW※	任期：2023年3月まで
徳永 和成	長野労働局健康安全課長	任期：2023年4月から
外山 さつき	中野市健康福祉部福祉課副主幹	任期：2023年4月から
長瀬 有紀	松本保健福祉事務所長	任期：2023年3月まで
中村 昭則	まつもと医療センター 臨床研究部長兼脳神経内科部長	
中山 ゆかり	伊那中央病院地域医療連携室長	任期：2023年3月まで
新田 和仁	県立木曽病院医師	
橋詰 正	上小圏域基幹相談センター所長	
橋本 昌之	長野県社会福祉協議会主査	
日根野 晃代	信州大学医学部附属病院 信州診療連携センター難病診療部門長 難病診療連携コーディネーター	
福山 哲広	信州大学医学部附属病院 信州診療連携センター移行期医療支援部門長	
松田 直明	県立木曽病院医療 SW※	
三沢 あき子	諏訪保健福祉事務所長	任期：2023年4月から
溝口 圭一	長野県医師会常務理事	
宮崎 大吾	信州大学医学部附属病院 信州診療連携センター難病相談支援部門長	
桃井 浩樹	飯田市立病院副院長	
両角 由里	長野県難病相談支援センター難病相談支援員	
山崎 正志	北信総合病院長兼脳神経内科部長兼地域医療部長	
山寺 太	佐久医療センター佐久総合病院 地域医療連携室課長	任期：2023年3月まで
涌田 公義	中野市健康福祉部福祉課障がい福祉係長	
渡邊 優貴	長野県難病相談支援センター難病相談支援員	

※SW：ソーシャルワーカーの略。

(2023年10月現在)

○ 長野県アレルギー疾患医療連絡会議（16名）

(50音順、敬称略)

氏名	役職等	備考
伊藤 靖典	長野県立こども病院アレルギー科	
岡野 和弘	長野県医師会	
鬼窪 利英	長野県薬剤師会	任期：2023年4月から
加藤 浩康	大町保健福祉事務所長	任期：2023年4月から
上條 篤	上條アレルギー科・耳鼻咽喉科医院	
神田 博仁	長野県薬剤師会	任期：2023年3月まで
木庭 幸子	信州大学医学部附属病院皮膚科	
栗塚 有華	長野県PTA連合会	任期：2023年4月から
小池 由美	長野県立こども病院アレルギー科	
齋藤 彦次郎	長野県歯科医師会	
長瀬 有紀	松本保健福祉事務所長	任期：2023年3月まで
西澤 久美子	長野県PTA連合会	任期：2023年3月まで
花岡 正幸	信州大学医学部附属病院長	座長
平山 和孝	長野県看護協会	
馬島 園子	長野県栄養士会	
宮澤 俊樹	長野県小学校長会	

(2023年10月現在)

第3期信州保健医療総合計画 ～健康長寿世界一を目指して～

令和6年（2024年）3月発行
編集発行 長野県健康福祉部

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2

健康福祉政策課

電話 026-235-7093（直通）

FAX 026-235-7485

電子メール kenko-fukushi@pref.nagano.lg.jp

長野県ホームページアドレス <http://www.pref.nagano.lg.jp/>